

戦争はなくして平和にしていく

三ツ谷小学校 五年三組 ニュースヤリス 仁

ぼくは、平和新聞を讀んで初めて知ったこ

とは沖縄におそろしい戦争がおきて人々の人

が実際に戦争体験をして改めて戦争は絶対に

起きてはならないとゆう勇気をもつて戦争体

験をいびんで人々がいびんでがんばつていま

す。

1945年にアメリカ軍が上陸してきて、

男子生徒が兵士になり、そのはえすうが戦死

してしまい女子生徒がかんごにあたつて当時

兵士をしていた人の話によつたからかわいそ

うに仲のよかつた友達がお腹をうたれて大量

の血を流して死んでしまつたといつて沖縄で

は県民六十万人のうち、十二万人以上の人々

がなくなつたと書かれていて多くの人ががし

んでしまつた。

よくがんばつた人々は一体、何を食べて生

きてきたのがとかかれていて食べ物もなくカ

エルやかラムリ、ハブなど食べて残さず食

やてきけやでいふつやきたなり生き物を食べ
ていてたくさな食するよとが出来て皮やほね
種なむすびて食いでいたよとやうてこいうゆ
うものを食べて生きてきたのか。

それは、通常のさんの工夫をしていて三倍
ほび水をうやして通常のさんは水がなくな
ても三倍水がもらえるからです。

吉川さん一家がかくれしている場所であつた
たら急にうめき声が聞こえて、吉川さんが上
がろうと知たら薬品のせいと体がおきとから
なかつたよ書かれています。

吉川さんの弟は右半身がきりだらけになつ
て二月後になくなつてしまひ、お母さんが六
をほつて弟をまいそうして母の気持ちにはな
してくれたそうです。

または、母はむねに幸い気持ちでなみた
をながしながらい当時の事をほくたちにははな
してくれたそうです。

戦争は人が人ではなくなつてしまつたう
なら親が子どもを守るけど戦争がおこると大

変なになりたくさんの人々がケガをしたり親もケガをして歩けなくなったり子どもを置いていく父おや母おやが見ずけるとキモあるそうひま。

また、結局捨ててしまつた母おやや助ける人もいる。

このように、沖縄は、おそろし戦争や戦争で負そいでいて子ども見ずてる人は、吉川さんと原さんの話を聞いてみたらケガをしている子どもや母、父もケガをして先けなくなる人はいっぱいいる。

ぼくは、戦争がおきたら、母、父を守つたり吉川さんみたいな人にならないよう戦争もしている人がいたら全員で助けあったり協力したりする。

人間を一人一人大切に大事にすくいたいひま。

ぼくも、吉川さんみたいに平和をいっぱい作りたいひま。